

『歴史地理教育』バックナンバー

御注文は、一般社団法人歴史教育者協議会事務局まで、FAXかメールでお願いします(送料は別途、代金は後払い)。在庫品に限りがありますので、品切れの場合は、ご容赦下さい。

●歴史教育と授業づくりに関連した特集号(在庫品)と主な内容

二九八号(一九七九年十一月) 定価四五〇円(在庫4冊)

特集 子どもの社会認識と学力

子どもの発達と社会認識の学力 山下国幸/座談会Ⅱ子どもの社会認識と学力 南部吉嗣・加藤文三・片山誠二郎・山下国幸(司会・臼井嘉一)/実践(小)子どもたちをとりまく「世界」秋山敏/実践(中)地理の学習と子どもの社会認識 青島晋五/社会科の学力と授業—私の実践を振り返って 本多公榮

三四八号(一九八三年三月) 定価五〇〇円(在庫3冊)

特集 共感とわかるすじ道

科学的歴史認識が深まるとは 中村政則/実践(中)「スパルタクスの反乱」の授業 安井俊夫/安井さんの報告について 南部吉嗣/「自分の目でとらえる」ときの自分の眼とは? 鈴木正氣/科学的社会認識と「共感的発言」—中学校社会科シボジウム論議をふまえて 臼井嘉一/五感・体験を通しての言葉・行動の習得(幼)鈴木勝/実践(中)聴覚障害児と歴史画にとりくむ 西岡洋三

四一一号(一九八七年四月) 定価五五〇円(在庫1冊)

特集 子どもをひきつける授業の手だて

「一時間の授業」の理論と技術—西アジアの遊牧の授業 安井俊夫/座談会Ⅱ安井実践にみる授業の手だてと論理 子安潤・石井建夫・川本治雄・安井俊夫(司会・黒川和幸)/魅力ある授業をつくるために—歴教協八〇年代実践から何を学ぶか 森脇健夫

四一二号(一九八七年五月) 定価五五〇円(在庫3冊)

特集 社会科四〇年

実践(小二)小学生の社会認識形成と「生活科」 小出隆司/「南京事件と奈良三八連隊」の授業—中三と高三の社会認識の違いは何か 勝山元照/社会科四〇年と歴教協—歴史教育の再建から社会科歴史の構築へ 本多公榮/戦後史と今日の社会科の課題(上) 佐々木隆爾/「現代社会」とは何だったのか 滝沢民夫 他

四四五号(一九八九年八月) 定価五七〇円(在庫2冊)

特集 歴史の学び方再発見

スパルタクス蜂起で子どもに何を問うか—「歴史研究と歴史教育」の今日の問題 土井正興/歴史研究と歴史教育の構造—歴史教育学の試み(上) 宮原武夫/なぜ『あゝ野麦峠』を教材にするのか—社会科授業づくりの構造 安井俊夫/いま歴史教育で何が問題か 本多公榮

四八八号(一九九二年六月) 定価六〇〇円(在庫7冊)

特集 討論で考える日本史の授業

実践(高校現社)平和の主体を育てる歴史の授業—だけのため
の国体護持か 加藤公明/座談会Ⅱ加藤公明実践を検討する
北尾悟・河名勉・永瀬弘勝・坂本昇(司会・古谷博)/座談会
についての感想 加藤公明/討論学習と認識の論理—加藤公明
「十五年戦争の授業」 宮原武夫